

(資料1)

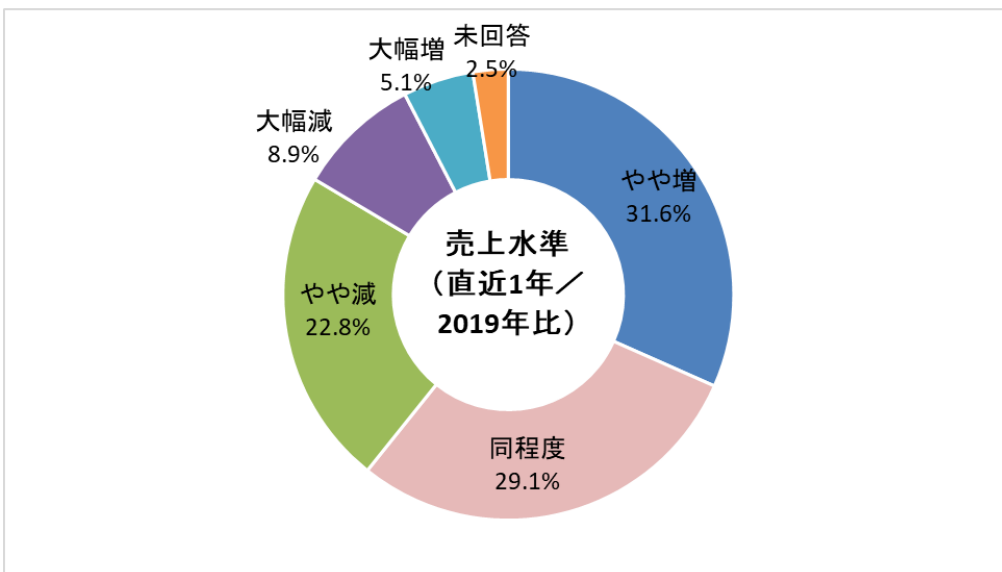
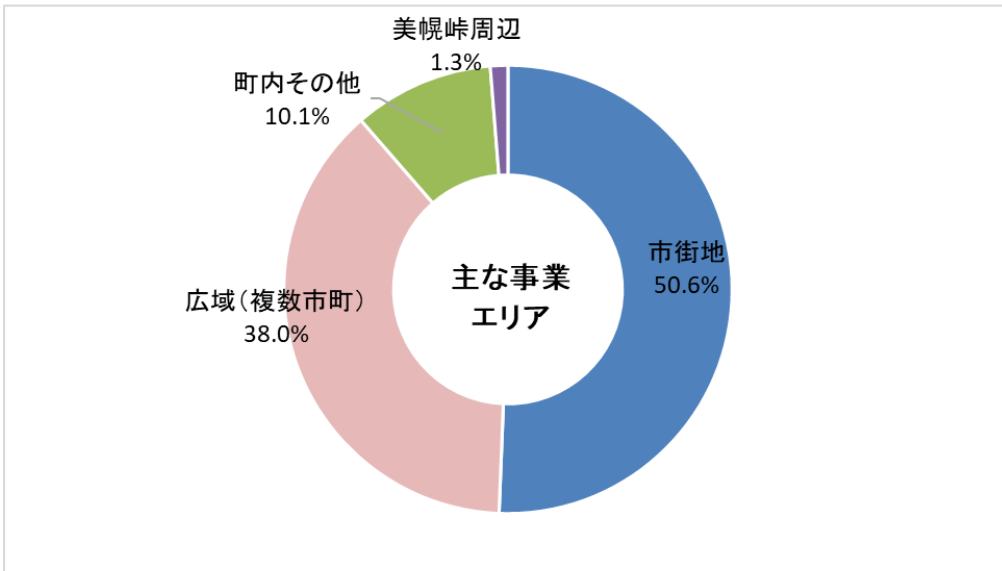
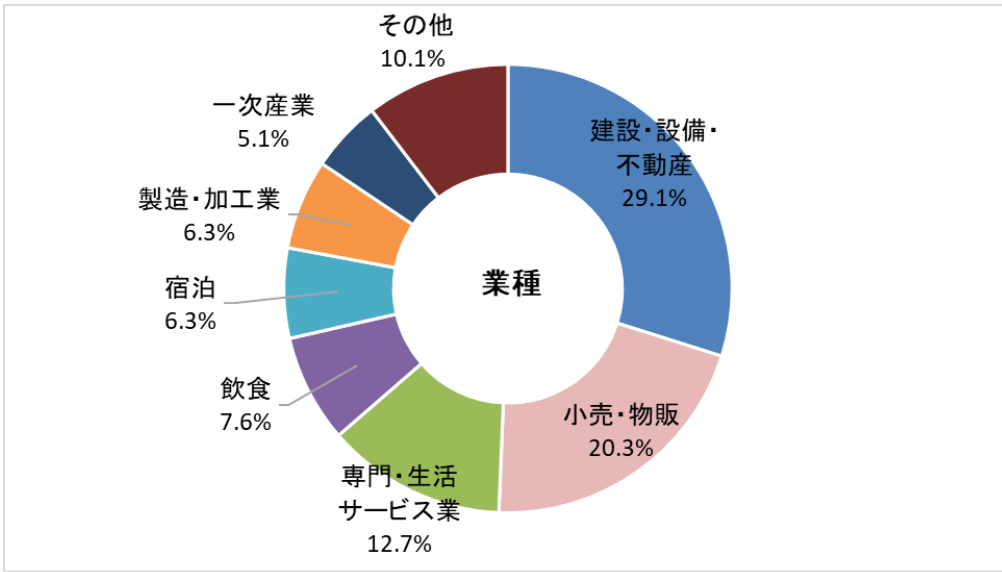
## 事業者アンケートの結果と『びほろ』みらいまちづくり会議の結果

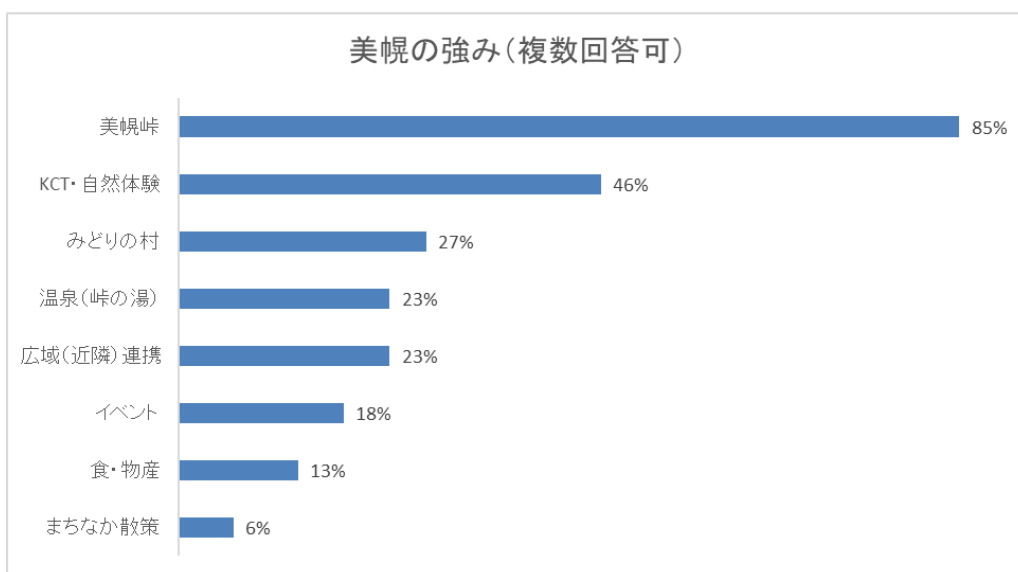
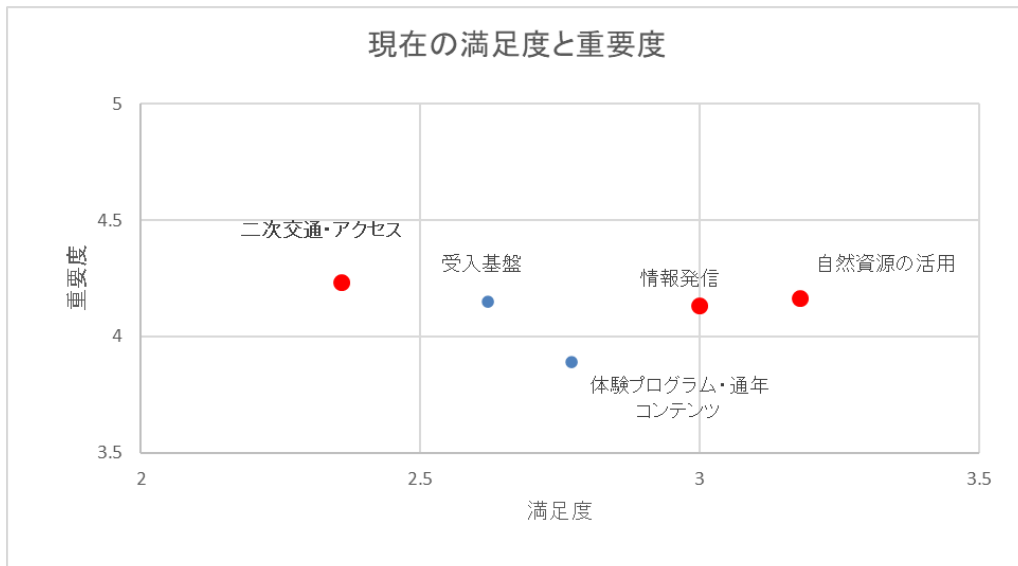
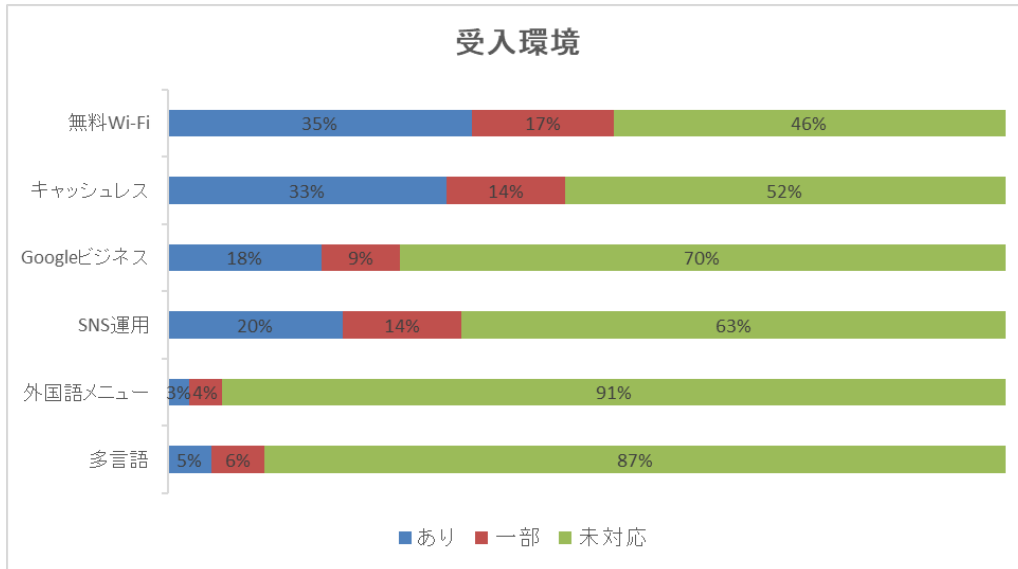
### (1) 事業者アンケート調査概要と集計結果

依頼先：美幌商工会議所会員事業者 350件

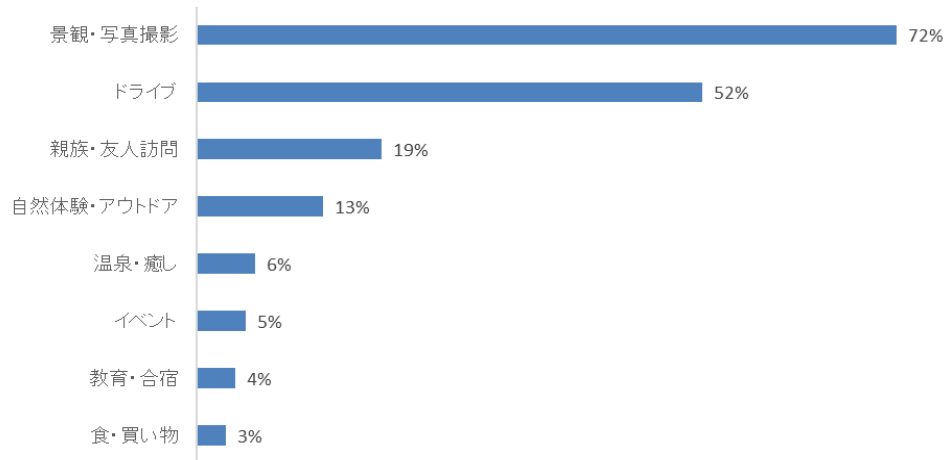
期 限：令和8年1月30日

回 答：79件（回答率22.6%）

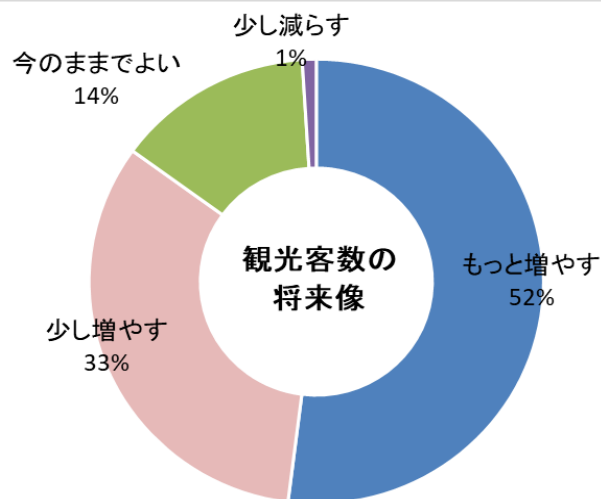
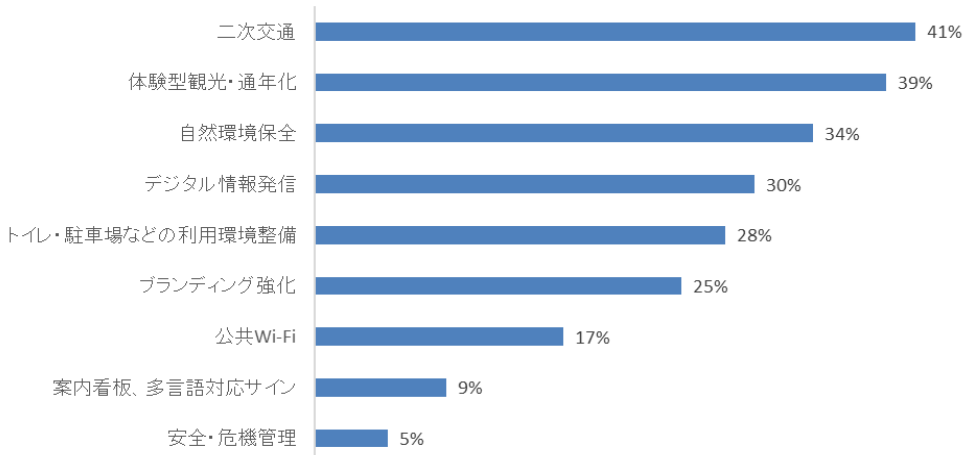


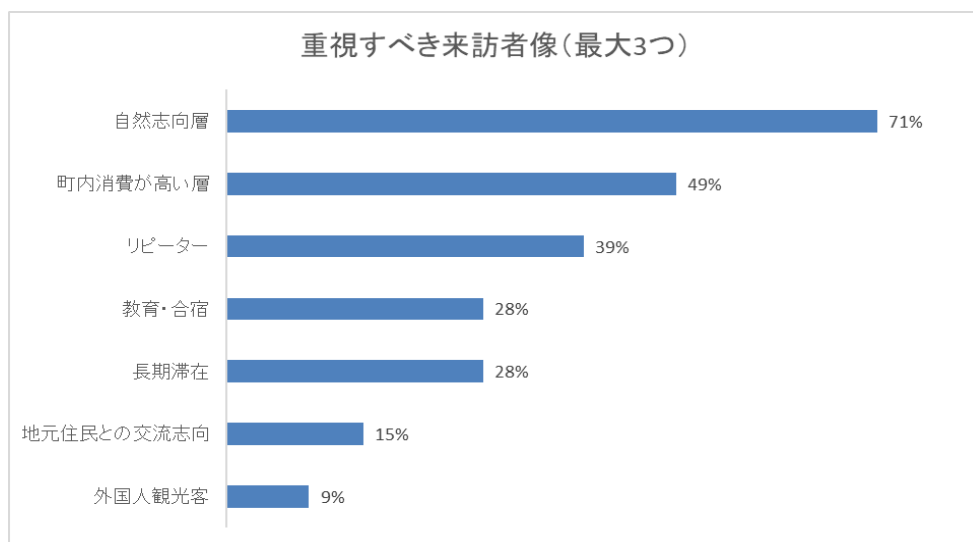


### 主な来訪目的(最大2つ)



### 重点的に予算を投入すべき分野(最大3つ)





## 自由記述意見（抜粋）

### 【新しい取り組み案】

#### ■ KCT・自然体験関連

- ・ KCT を積極的に活用するためには、まず地元のファンづくりに取り組むべき。小中学生や各種団体への働きかけを行い、地元で愛される KCT にしたい。熊対策として、熊スプレー貸出など安全対策の充実はあるか。
- ・ KCT の利用方法をより柔軟にし、多くの人に喜んでもらえる取り組みが必要。
- ・ 美幌川歩道をフィッシングエリアとして活用するフットパス整備の提案。自然と人の営みが共生する景観保全の視点も重要。
- ・ 古梅ダムでのカヌー体験、釣り体験、狩猟体験、ジビエ料理体験などの提案。

#### ■ 美幌峠の活用

- ・ レストハウスで玉ねぎ、アスパラ等の特産品を堪能できる機会を増やすべき。
- ・ 美幌峠での天体観測の実施。
- ・ 峠の活用をさらに検討。
- ・ 地元出店者が入店しやすい環境づくり。

#### ■ 滞在型観光・拠点化

- ・ 通過型観光から滞在型観光への転換。体験レジャーや地域交流を重視。
- ・ 着地型観光へのシフト。地域主体の商品造成が必要。
- ・ 美幌町をオホーツク観光の拠点・宿場町として活用。
- ・ 修学旅行・宿泊学習の誘致とそれに伴うインフラ整備。

#### ■ 市街地・受入環境整備

- ・ 駅周辺に人が集まる施設（飲食可能な足湯など）の整備。
- ・ 屋内型イベントスペースの整備。
- ・ 駐車場の確保。
- ・ 空き家対策、商店街活性化。
- ・ 市街地内道の駅の整備。
- ・ 町中の住みやすさ向上。

#### ■ ブランド・発信

- ・ テーマカラー、キャッチコピー、宣材画像の統一。
- ・ ノベルティ開発。
- ・ 美幌の人の良さを活かした「旅人案内人」ネットワーク構築。

#### ■ 連携・特色活用

- ・ 自衛隊との連携事業。
- ・ アイヌとの関係性の活用。
- ・ 農業体験、収穫体験など一次産業との連携。

## 【最初に改善してほしいこと】

### ■空港アクセス・交通

- ・空港からの移動手段にバスがないのが大きなデメリット。北見行きバスの途中で美幌を追加できればよい。
- ・女満別空港と美幌町間の交通手段の確保。
- ・空港からアクセスしやすくしてほしい。
- ・女満別空港—美幌町—美幌峠の交通手段整備。

### ■文化・工芸・多様な価値の発信

- ・食や絶景は基本情報だが、それだけでは他地域との差別化は難しい。
- ・食事制限のある方やインドア派など多様性を考えると、地域工芸などの文化的コンテンツは、その土地の気候・風土・歴史的背景と結びついた価値ある資源である。
- ・工芸を通じて土地を深く理解してもらうことは、観光にとどまらず移住促進にもつながる可能性がある。

### ■情報発信

- ・諸外国や国内に向けたオホーツク地域・美幌町の積極的情報発信が不可欠。
- ・近隣市町村と比較して情報量が不足している印象がある。

### ■景観・まちなみ

- ・解体補助制度はあるが、古い建物が景観を損ねている部分もある。
- ・良い古建築もあるが、観光地としてマイナスとなる部分も散見される。

### ■宿泊・拠点施設

- ・宿泊施設の充実（温泉と一体型）。
- ・宿泊施設の更なる充実。
- ・町内（街中）に観光拠点施設が必要。

### ■跡地活用・まちづくり

- ・学校跡地の活用。
- ・文化・スポーツ活動などコミュニティの場の整備。
- ・企業誘致、合宿場など人が集まる場づくり。

### ■食

- ・美幌町を代表するご当地グルメの開発

## (2) 『びほろ』みらいまちづくり会議の結果共有

第3回『びほろ』みらいまちづくり会議では、美幌町の将来イメージについて意見交換を実施。観光による活性化が主要テーマの一つとなり、「にぎわい」「交流」「産業振興」と結び付けられました。

### 【部会別の観光関連意見】

#### ■総務部会

- ・町外からの研修旅行、見学旅行の誘致
- ・空港近接性を活かした宿泊増加
- ・海軍跡を活かした観光
- ・宿泊施設充実による「通過型から脱却」

#### ■町民生活部会・経済部会

- ・KCT を核とした観光交流
- ・ハイカーとの SNS 発信
- ・町民と来訪者の飲食交流
- ・KCT 目標：170 人 → 10,000 人
- ・観光から二地域居住へ
- ・美幌峠～中心部～空港の動線形成

#### ■福祉部会

- ・観光客は「食」と「景観」を求めて来訪

#### ■建設部会

- ・和牛祭り等イベント拡充
- ・美幌峠から中心部への流動
- ・郊外道の駅に植物園
- ・スポーツイベントによる宿泊増

#### ■教育部会

- ・体験型観光
- ・雲海・ジビエ体験
- ・農泊（空き家活用）
- ・外国人観光客対応（翻訳ソフト）